

## 第2期富山県教育大綱（案）に対するパブリックコメント等の概要について

- 1 意見募集の期間 令和3年2月18日（木）～ 令和3年3月10日（水）
- 2 意見の提出数 107通、213件
- 3 主な意見の概要及び対応状況（詳細については、参考資料参照）

番号	項目	主な意見の概要	対応状況
1	基本方針1 方向性②	コロナ禍で子どもが家庭で過ごす時間が増えたことによる心身への影響に関する相談窓口の充実	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  県教委では、家庭教育に悩みや不安を抱く親に対して、電話相談、電子メール相談や専門的な臨床心理士によるカウンセリングを実施
2	基本方針2 方向性②	I C Tを活用した教育とともに、学校図書館を活用することによる学びの充実	<u>大綱(案)に記載 (P13)</u>  「学校図書館とI C Tを活用して収集した情報の比較・検討などにより、情報の収集・選択・活用能力を育成します。」
3	基本方針2 方向性②	プログラミング教育やI C Tを活用した教育の充実のため、専門人材による支援の拡充	<u>大綱(案)に記載 (P13)</u>  「実践例の紹介や研修の充実、外部人材の活用などにより、対面指導と遠隔・オンライン教育の適切な組み合わせによる新しい教育様式を実践します。」
4	基本方針2 方向性⑤	業務の削減やI C Tの活用などによる効率化、研修や行事等の精選	<u>大綱(案)に記載 (P20)</u>  「教職員の多忙化解消に向けて取り組むとともに、教員が児童生徒と向き合いやすい環境の整備に努めます。」 「部活動指導員やスクール・サポート・スタッフ、スクールロイヤー等のさらなる活用を推進するとともに、校務のI C T等による業務の効率化を図ります。」
5	基本方針3 方向性①	児童生徒のネットトラブルに対応した相談窓口の充実	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  県総合教育センターに教育相談専用電話、24時間いじめ相談電話や相談メール、東西教育事務所に相談専用電話等を設置

番号	項目	主な意見の概要	対応状況
6	基本方針3 方向性①	不登校の児童生徒の教育機会の確保のため、フリースクールとの連携、オンライン教育等の実施	<u>教育大綱(案)に記載 (P23)</u>  「教育支援センター（適応指導教室）やフリースクールなどの民間施設等との連携・協力体制を構築します。」 「学校で学びたくても学べない児童生徒に対しても、オンライン教育を活用して学びを保障します。」
7	基本方針3 方向性②	少人数教育の推進や専科教員の配置等による授業の質の向上、教員の負担軽減	<u>教育大綱(案)に記載 (P25)</u>  「少人数指導と少人数学級それぞれの良さを活かした効果的な少人数教育の充実を図るため、少人数指導体制を維持しながら、少人数学級の拡充に取り組みます。」 「小学校における専科指導体制の拡充により、高学年での教科担任制の充実に取り組みます。」
8	基本方針3 方向性③	特別支援学級の支援スタッフの増員等による特別支援教育の充実	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  ・多人数の特別学級に追加教員を配置するなど支援体制の充実 ・特別支援教育支援員(スタディ・メイト等)の配置
9	基本方針5 方向性②	県立図書館の機能の拡充による多様な学びの充実	<u>教育大綱(案)に記載 (P40)</u>  「近年の県民ニーズの多様化を踏まえ、県立図書館の機能向上について検討します。」
10	基本方針8 方向性②	部活動の地域への移行の推進	<u>教育大綱(案)に記載 (P58)</u>  「休日のスポーツ活動を地域において実施できる仕組みや環境の整備について実践研究を行い、その成果と課題を検証することを通して、よりよい運動機会を創出します。」